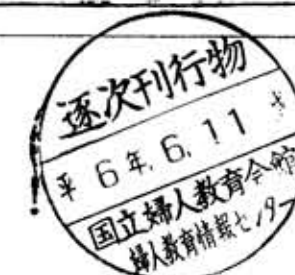


抗議します



さる4月28日付け各社新聞の報道によると、小沢一郎新生党代表幹事がこの度の社会党の離脱に関連して、国会内の記者団にたいして「どの女と一緒に寝ようがいいじゃないか。」と発言したということですが、この言葉は重要な政治問題を『女と寝る』などという品位のない表現で発言して彼の女性蔑視観をあらわにしたものです。

記事によると私的なやり取りのなかでの発言ということですがこれこそ、彼自身の人間性が暴露されたものです。

日本が現在、女子差別撤廃条約に基づいて両性が共生できる社会を目指しているにもかかわらず、その大きな責任と役割を担っている政治家がこのような発言をし、女性蔑視の意識を持っていることに対して私たちは憤るとともに、小沢一郎さんに抗議します。

1994年4月29日

ばってん・うーまんの会

事務局

津田尚美

抗議します

4月29日 前日の新聞報道を受けて 前頁の通り
小沢一郎さんに対して 抗議文を発送致しました。

小沢発言について超党派の女性議員達が抗議を申し入れたとの新聞記事を読んで、おびきり
達はとてうれしくなりおた。そして抗議文を郵送しました。

又、小沢さんへのコメントも私達の反感をよびました。「永野恒相の問題発言の時 小沢一郎が
「閣僚であると言いたい事が言えない。言いたくない自分のように何の役にもつりていない方が言える」と発言。一
般市民の言う事から人権を卑下するだけでいい。有力政治家代表幹事が 政治を動かしている人
の発言としては許せない。何れも言いたくない政治家をやる。」

私達としては この言葉自体だけでなく、日本を代表する政治家が「下ネタ表現」政治を表現するのがおかしい
し女性蔑視の下ネタは許せない」と話し合います。

宮崎でも

男がうけ
ました。



94 5月21日 朝日

小沢氏発言に
宮崎でも抗議
女性ら新生党に郵送
新生党の小沢一郎代表幹
事が「この女と一緒に寝よ
うがいいじゃないか」と発
言した問題で、宮崎県の女
性で組織する市民団体など
が二十日、新生党本部に抗
議文を郵送した。
女性約二十人でつくる市
民団体「宮崎の女もやわ
よ会」(坂田真規代表)
と、社会党宮崎県本部や県
評センターなどで組織する
「女性解放をめざす宮崎県
女性連絡会議」(本部アイ
子議長)。

性による役割分担をくり返すコマーシャル。が変った

しかし、男女平等にはまだ遠い!

これはつい最近の
「長崎新聞」のコラム
です。(5月13日付)



書いてるのは報道
部に入った3年
25歳の若い男性です
びっくりしました
とてうれしかったです。

最近のCMから気になった
ものを一つ紹介。某地元局
が放送する住宅展示場のテレ
ビコマーシャル。授業参観で
男の子が作文を読み上げる内
容だが、気になるのはそのせ
りふ。ほくの家、今度新しく
なったんです。こんなきれいな
家になったのはお父さんの
おかげです...
一九九〇年の国勢調査によ
ると、パートも含めた既婚女
性の就業率は全国で約五割。
この数字を見ても分かるよう
に共働き夫婦は多い。もし「家
計を支えているのは男」なん
て言おうものなら、世の女性
から怒られても仕方ない。



根強い旧態依然の固定観念 下釜 智 (報道部)

しかし、これだけ女性の社
会進出が進んでも、そうした
旧態依然の固定観念は根強
い。また、当たり前のように
受け止められている男女差別
も多々ある。例えば学校のク
ラス名簿。男子が先で女子は
後「がいわば常識。社会にお
ける女性への認識はまだ不十
分だ。
コマーシャルの中で、少年
の口から母親への感謝の言葉
は出ずじまい。「女性軽視の気
持ちは全くない」と製作者
側は話しているが、それなら
なぜ「お父さんのおかげ」な
のか。共働きは珍しくない。
いや、たとえ共働きではなく
とも父親だけが感謝されてい
ると受け止められかねない表
現はどろだらう。CMを見て
そう感じたのは私だけではな
いと思うのだが。



こんなコマーシャル
N.B.C.
ハウジングプラザの
コマーシャル

(注 長崎で抗議している住宅展示場の広告)

私達も又、「ぼんちんうーまん」の
145号(1993年 12月発行)に
こんな記事ものをしてみました。



小学生の男の子が作文を発表する「今度新しい家をつくりおいて、
みんな満足です。お父さんのおかげです。みんな感謝しています」

カコブ と作る お父さん

見ていてとてもいやな気持ちでした。性的役割分担そのものじゃないの。
古い意識を持つ長崎の広告業界の男性の体質が表れている。家を建てる為にほとんどお母さんが外で働
いているという現実がある。

どうして昼間の団地の道がシーンとして、人影がなかなかあつてくるの?

この記事が出てからコマーシャルは
こんな風になりました

(画面)

(せりふ)

セラー服の少女が1人出て来て立ち止る。
(地元の宿)のメロディーが流れてくる

ガス台に向かっているお母さん。少女が流れて手
ついている。遠くで羊がコーン・カウを鳴らすお盆をゆす
りながら(?)

誕生日のパーティ。ケーキを囲む家族4人
ケーキをろうそくも吹き消す少女。父・母・羊が見守る

家族一同が度々遊ぶシーン。

少女がみどりの小道を何となく歩いて行く。
ふと立ち止り、ふり返る

みどりの中を歩く父と母の腕を組んだ後ろ姿

「お母さん、私ももう高校生に
なりました。」

少女が「お父さん、こんな大きな家
建てるの」

「大変だね、はう」

少女の声
「お父さん、お母さん、ありがとう」

少女の声
「いつまでも仲良く一緒に暮らしたいね」

中年の男性の声のテレフォン(父?)
「我家には家族の夢が詰まっています」



前のコマーシャル「家が出来たのはお父さんのおかげです」と内容として変えているとは思えないが、男は外、女は内という性的役割分担は変えていない。そこで――

(C.F.の作り手と電話で話した)

このコマーシャルを製作したのはN.B.C.放送開発局のオサジマ(漢字不明)さんだとわかった。

ばてんう-まん「C.F.変えたね。私達の会報にも書きました。数日前の長崎新聞のコラムでもとりあげられてね。その影響で変えられたのだから？」

オサジマさん「変える時期が来たので変えた。会報も新聞も読みおたが言われたか意識に変えたわけではありません。和やかなファミリーの風景を描いたにすぎません」

ばてんう-まん「では意識していないとおっしゃるのだから、又同じ様な性的役割分担のC.F.が作られる可能性があるわけだね」

オサジマさん「おっしゃる意味がわかりません」



ばてんう-まん 達のコメント

- A: 移るのはいつもお父さん というのはいつでも固定的ね
このC.F. 性的役割分担である事は変りない。
一方的に連続して反復する事により刷り込みが行なわれる。それが人間の意識や考え方を作っていくという点で問題のあるC.F.だね。
- B: 性的役割分担がある事は働く女性にとっては困る事だね。それを仕事場に持ち込まれているのがお茶汲みだし。
- C: 性的役割分担には合理的理由がない。
- D: 女子差別撤廃条約において 性的役割分担は男女平等に反する。だから若い人達には教育を通じて 性的役割分担を変えて行かねばならぬと明記してある。
- E: 今この様なコマーシャルを流しているのは世界の概ねにも 条約を批准した政府のあり方にも反しているし、男平等にも反している。